



Mine秋吉台ジオパーク

再認定審査現地調査 が行われました！

11月25～28日の4日間、4年に一度の日本ジオパーク再認定審査現地調査が行われました。調査員は、秋吉台や秋芳洞、桃ノ木露天掘り跡や荒川水平坑跡などでこれまでのジオパークの取組を確認し、市長や事務局員、地域の方々と意見交換を行いました。日頃からジオパーク活動に携わってくださっている方など多くの方にご協力いただきまして、心から感謝申し上げます。この度の審査結果は次号のGEO協議会だよりに掲載します。今後も引き続き、様々なジオパーク活動と一緒に盛り上げていきましょう！どうぞよろしくお祈りします。

ベトナムのジオパークと連携協定(MOU)を締結しました!

1番印象に残っていることは?



広大なカルスト台地! 急峻な山! 山の上は、曇って周りが見えない日もありましたが、そんな中、くねくね山道を駆け抜けるバスのスリルも味わえた、素敵なドンヴァンでした。

びっくりしたことは?



「幸福の道」から見える絶景! 渓谷の崖っつちの道を進み、峠を沢山超えると雄大な岩山が広がっているのです。同じ石灰岩でも自然が作り出す美しさの違いに感動しました。

一番美味しかったものは?



定番の朝ごはん! 「フォー」です。米粉の麺に薬草(パクチーやミント)、ライム、ナンプラー、鷹の爪等々を盛り、どんどん箸が進みます! 土地に根付いた食だなあと感じました。

美祢と違ったことは?



日本のように単一民族ではなく、少数民族によって社会が成立していました。少数民族は、急斜面を耕作地にして生活するなど困難な環境でしたが、ジオパークを利用することで経済の好循環ができていました。

美祢と似ていたことは?



ドンヴァンの農民は、水持ちの悪い石灰岩の斜面に、棚“畑”を作っていました。1時間かけて秋吉台を登りドリーネ畑を作った人々と似ています。

訪問について

11月6日~11日まで、国際交流員やジオガイド等の9名がベトナム北部のドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパーク(以下ドンヴァンUGGp)を訪問しました! ドンヴァンUGGpは美祢市の約5倍ほどの面積があり、少数民族の文化を守る活動が評価されています。今回の訪問ではジオパークのビジターセンターや主要サイト、少数民族が暮らす村々、そして小中学校を訪問しました。



ドンヴァンUGGpの印象は?



高地や溪谷が広がり非常にダイナミックなカルスト台地。同じ石灰岩でも、でき方や環境によって秋吉台とは違った地形になり、人々の暮らしも変わってくるのが印象的でした。

ドンヴァンUGGpへ行ってよかったことは?



カルスト地形や少数民族の暮らしなどを、写真や文章ではなく実際に目で見て肌で感じたことです。広大な大地と住民のイキイキした雰囲気にとっても刺激を受けました。

協定締結を記念したイベント

2月3日(土)

「ベトナムの祭典」

を開催!

カルスターにて、ドンヴァンUGGpの紹介をはじめ、ベトナムの料理や文化を体験できるイベントを計画しています。詳細は後日ホームページにアップします。

一番嬉しかったことは?



同じ言語が話せなくても、最終日にはすっかりお友達になった両ジオパークの関係者が、身振り手振りや翻訳アプリを使って楽しくおしゃべりしているのを見て感動しました。

顧問である山口大学の協田先生に両ジオパークのカルスト地形の違いを教えてくださいました!



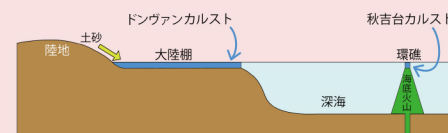
締結式

今回の訪問の目的は、連携協定(MOU)を結ぶことでした。締結式ではMine秋吉台ジオパーク推進協議会の会長である篠田市長のビデオメッセージの後、神田事務局長がスピーチを行いました。意見交換会では今後の連携活動について話し合いました。主に教育交流を行っていきます!



出来た場所やカルスト化の期間の違いが地形の違いになっています。

	秋吉台	ドンヴァン
規模	小さい	大きい(約24倍)
	約100km ²	約2360km ²
形成場	ピュアな石灰岩	土砂の混入がある
	玄武岩の上に形成	泥岩や砂岩の上に形成
	大洋上の環礁	大陸棚の石灰質堆積物
谷の深さ	浅い	深い
	約200m	約1000m
カルスト化	期間が短い(数100万年?)	期間が長い(何億年)
	平坦な地形	タワーカルスト
鍾乳洞	調べられている	あまり調べられていない
	観光洞数 3	観光洞数 1



▲大陸棚で出来たドンヴァンUGGpのカルスト台地と海底火山の上でできた秋吉台のカルスト台地